

日本学術会議 学術振興の観点から国立大学の教育研究と

国による支援のあり方を考える検討委員会（第23期・第1回）議事要旨

日 時 平成27年5月18日（月）15:00～17:00

場 所 日本学術会議 2F 大会議室

出席者（敬称略）

金子元久、三成美保、秋葉澄伯、甲斐知恵子、古谷野潔、福田裕穂、大西隆(V)、

五神真、福山満由美、安浦寛人、吉見俊哉（計11名）

*V:ビデオ会議による参加

*事務局出席者：田口、井上、盛田、渡邊、鳥生、井須、熊谷

議事概要

（1）配布資料および委員会の概要説明

事務局より、配布資料および本委員会の概要についてアナウンスがあった。続いて、大西会長より、委員会発足の経緯について説明があった。

（2）役員の決定

互選により福田委員が委員長に就任した。続いて福田委員長より、副委員長に安浦委員、幹事に三成委員および古谷野委員が指名され、承認された。

（3）今後の方向性についての意見交換

大西会長より、「第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方について（中間まとめ）」（文部科学省、平成27年4月8日）の紹介があった。その後、大西会長より、国立大学協会における国立大学の将来ビジョンに係る検討状況について報告があった。続いて、本委員会の今後の議論の方向性について、委員間で自由に意見が交わされた。

（4）今後の予定

次回以降の会議において、財務省、文部科学省等から関係者を招き、ヒアリングを行うこととなった。近日中に日程調整を行う。